

2022 年 10 月 27 日

## 宇宙空間の安定的利用の確保・責任ある行動と防衛部門の役割

慶應義塾大学大学院法務研究科 青木 節子

## 1. 宇宙に係る情勢認識

## (1)多様な衛星攻撃(ASAT)兵器実験

## ①物理的破壊を伴う ASAT 実験 (地上→宇宙; 宇宙→宇宙)

1959-1986 年 米 29 回 ソ連 23 回

21 世紀 2007 年中国; 2008 年 米国、2019 年 インド、2021 年 ロシア

## ②非破壊的な ASAT 実験のタイプ

i) ミサイル防衛型 目標地点を通過 静止軌道まで

ii) ランデブーおよび近接オペレーション(RPO)型

- ロボットアームで捕獲
- 軽く体当たり(結合)や軌道変更
- 接近し、通常兵器を放出

iii) 地上設備からのレーザー攻撃

## (2)地球周回軌道からの地上攻撃兵器 (宇宙→地上)

2021 年 10 月を含み、中国が複数回実験という説

## 2. 宇宙活動についての規範形成と外交部門の役割

## (1) 同盟国・友好国との協調

Direct Assent (DA)ミサイルによる衛星破壊実験禁止規範づくりへの積極的関与

## (2)国連での活動

「責任ある行動」規範作りへの積極的関与

長期持続可能性ガイドラインの細目仕様書づくりでの貢献

宇宙の SDGs への貢献

## 3 防衛部門に求められる能力等

## (1) 同盟国・友好国との協力による SSA 運用能力の向上

## (2) サイバーセキュリティ能力向上